都留市都市計画マスタープラン

市民意見書

１．市民懇談会の目的と検討経過

２．意見書

都留市まちづくり市民懇談会

1．まちづくり市民懇談会の目的と検討経過

◆市民懇談会の目的

「都留市まちづくり市民懇談会」は、一般公募市民、関係団体代表、都留文科大学生などの幅広い年齢層や様々な職業の市民 28 名により構成された会です。

市民懇談会は、都市計画マスタープラン改定における市民の検討組織として、市民の視点から市全域及び地域のまちづくりの在り方を検討し、協議成果を市民意見書としてまとめ、市長へ提出することを目的としています。

◆市民懇談会の検討経過

まちづくり市民懇談会は、以下の日程で実施し、各テーマに沿って意見交換及び検討を行い、その成果として、「市民意見書」をとりまとめました。

日　程	実施プログラム
令和 3 年 9 月上旬～末まで	本市のまちづくりについて 調査票の提出
令和 3 年 10 月 26 日 **第１回 市民懇談会**	テーマ：・都市計画マスタープランとは ・地域の現状を整理しよう
令和 3 年 12 月 9 日 **第２回 市民懇談会**	テーマ：今後のまちづくりの方向性について 意見交換しよう
令和 4 年 1 月 31 日～2 月 10 日 **第３回 市民懇談会（書面会議）**	テーマ：「市民意見書」の方向性について 意見交換しよう
令和 4 年 3 月 1 日～3 月 11 日	「市民意見書」の意見反映版の確認 （書面による）
令和 4 年 3 月 30 日 **第４回 市民懇談会**	「市民意見書」提出

◆まちづくり市民懇談会の概要

＜第１回市民懇談会＞

第１回市民懇談会は、委員への委嘱の後、市長挨拶をいただき、オリエンテーションを行いました。

オリエンテーションでは、「都市計画マスタープランとは」として、都市計画に関する一般的な事項や、現行の都市計画マスタープランに位置付けられた各種事業の取り組み状況の説明を受けました。

その後、第１回市民懇談会の開催前に提出した、本市のまちづくりについての調査票（良い(守りたい・残したい)と思う所、悪い(直したい・改善したい)と思う所、今足りない(あったら良い・新たに必要)と思う所）について、地図上に整理し、「まちづくり点検マップ」を作成しました。

＜第２回市民懇談会＞

第２回市民懇談会は、第１回市民懇談会で作成した「まちづくり点検シート」及び「まちづくり点検マップ」をもとに、現行の都市計画マスタープランの部門別構想の分野である「土地の利用、市街地（集落）の整備・住環境」「道路交通」「自然環境や公園・緑地」「防災」「景観」の視点から、再整理しました（分野に分類しにくいもの、複数の分野にまたがる複合的・総合的なものについては、「その他・複合的なこと」としました）。

それぞれの分野における「まちづくりの方向性」やその実現のための「まちづくりのアイデア」について、とりまとめました。

＜第３回市民懇談会＞

第３回市民懇談会は、これまでの話し合いをもとにとりまとめた「市民意見書」（案）について、書面会議により内容の確認を行いました。

「まちづくりの提案」の内容について、賛成や反対意見、補足すべき点や修正すべき点、疑問点や気づいた点などについて意見交換し、内容の充実等を図りました。

また、上記意見を反映した「市民意見書」（案）について、書面にて確認を行いました。

＜第４回市民懇談会＞

第４回市民懇談会は、これまでの意見を集約し、とりまとめた都留市のまちづくりへの提案を「市民意見書」として、提出しました。

2．意見書

「意見書」は、市民懇談会で検討した経過をもとに、本市のまちづくりへの意見書として、下記の内容でとりまとめました。

（1）都留市のまちづくりの課題
（2）まちづくりの提案
　①都留市のまちづくりの方向性
　②地域別のまちづくりの方向性
　　〇禾生・盛里地域
　　〇谷村地域
　　〇東桂地域
　　〇三吉・開地地域
　　〇宝地域

（1）都留市のまちづくりの課題

これまでの市民懇談会での話し合いから見えてくる都留市のまちづくりの課題を整理すると、以下の内容が挙げられます。

◆人口減少に負けない活力を生み出すまちづくりが必要です

本市においても、少子高齢・人口減少が進行しています。

このような中で、地域コミュニティの維持のため、発生する空家等の利活用による移住・定住の促進、就業や交流の場の創出など、活力やにぎわいを生み出すまちづくりが求められています。

特に、中心市街地においては、旧城下町の歴史的なまちなみを活かしながら、空き店舗の利活用や周辺施設との連携により、観光等の多様な交流の場の形成を図るとともに、商業地としての魅力と利便性の向上が求められています。

◆道路ネットワークの強化が必要です

中央自動車道・都留 IC の開設とフルインター化されましたが、市内の交通は、国道 139 号に集中することによる渋滞混雑により、周辺の住環境や市民の日常的な移動にも支障をきたしています。

このため、国道 139 号都留バイパスをはじめとする都市計画道路などの幹線道路の整備を進めるとともに、本市を通過する交通と生活交通の分離が求められています。

また、生活道路においても、狭あいな道路の解消や歩行者の安全性の確保などが求められています。

◆本市の歴史・文化や自然など、地域の資源を活かしたまちづくりが必要です

城下町であった歴史やこれまでに育まれてきた文化や遺産、豊かな自然等、多くの地域の資源・宝を有しています。これらの地域の資源を大切に保全・継承し、活かすことで、特色のあるまちづくりを進めていくことが求められます。

◆安全・安心・快適に暮らせるまちづくりが必要です

本市は、桂川をはじめとする多くの河川と、1,000m超の急峻な山々があり、山間地域が広域に広がっています。市街地・集落地は、河川沿いの限られた平坦地に形成されています。

近年激甚化する水害や土砂災害等のほか、南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生について切迫性が指摘されており、あわせて富士山火山災害についても、火山災害警戒区域に指定されています。これらの災害に対する備えとして、避難路や避難施設、情報提供体制などの避難体制の充実や、地域の防災力の向上が求められています。

また、少子高齢化の進展する中で、子どもから高齢者まで、誰もが快適に暮らせるように、公共交通の確保・維持や、気軽に集える公園・広場等の整備等が求められています。

◆大学を活かしたまちづくりが必要です

本市には、公立大学法人都留文科大学を有しています。大学の施設や設備のほかに、学生・教員といった人的資源があります。また、学生が集まることで交流が生まれ、地域の活性化が期待されます。

大学の持つさまざまな要素を、大学と地域が連携を図りながら、まちづくりに活かしていくことが求められています。

（2）まちづくりの提案

①都留市のまちづくりの方向性

都留市のまちづくりの課題をもとに、今後のまちづくりに求められる考え方や取り組むべきまちづくりの方向性を提案します。

方向性１　拠点の形成・魅力の向上と連携の強化

〇本市の中心的な拠点となる中心市街地の魅力向上
〇地域の拠点の魅力向上
〇空き家等の活用のための環境整備とまちづくりへの活用の促進
〇拠点間の連携・ネットワークの強化（道路・公共交通）

（まちづくりのアイデア）
・空き家や未利用地の活用
・産学官民が連携した空き家等の活用のための仕掛け（リノベーションスクール、学生・若手デザイナー）
・拠点間の連携・ネットワーク強化のための幹線道路の整備推進
・都留バイパスの延伸

方向性２　活力を創出する交流や産業を育むまちづくり

〇広域の交通ネットワークの整備による交流・連携の促進
〇本市の歴史・文化、自然環境などの地域資源を活かした交流の促進
〇地場産業の保護・育成と都留 IC 周辺などの新たな産業の創出
〇コロナ禍による新たな生活様式に伴う変化に応じた交流の促進

（まちづくりのアイデア）
・通過交通と生活交通との分離
・拠点間の連携・ネットワーク強化のための幹線道路の整備推進
・道路網計画の見直し
・都留バイパスの延伸
・都留バイパスへのアクセス道路の整備
・中央自動車道側道の整備
・空き家や未利用地、耕作放棄地の活用
・空き家等の活用のための仕掛け（リノベーションスクール、学生・若手デザイナー、ワーケーション、地域での活用）
・２地域居住の推進
・企業誘致のためのインフラ整備（通信環境など）

方向性３　災害に強い安全・安心で、誰もが快適に暮らせるまちづくり

〇地震や風水害などの自然災害への備え
　（ハザード情報の周知、避難路・避難施設の整備、防災資機材など）
〇セーフコミュニティの取組などと連携した地域の防災力・防犯力の向上
〇子どもからお年寄りまで、安心して快適に移動できる交通環境の整備
〇子どもや都留文科大学生が集える公園の整備
〇身近な公園・広場の整備

（まちづくりのアイデア）
・橋梁の耐震化
・耕作放棄地を活用した災害危険区域の代替地
・歩車分離（歩道整備など）による通学路の安全確保
・MaaS を活用した公共交通などの移動利便性の向上
・良好な住環境の整備
・ポケットパークの整備
・今ある公園の整備

方向性４　豊かな自然環境と共生する持続可能なまちづくり

〇豊かな自然環境の保全とその恵みの活用（ネットワーク化など）

（まちづくりのアイデア）
・自然を活かしたキャンプ場などの整備
・自然を壊して設置する太陽光発電の規制
・川や水辺を感じる空間づくり
・親水空間の整備
・河川環境の維持・保全
・遊歩道のネットワーク整備（通学路、散歩、観光に活用）

方向性５　歴史・文化、自然環境を大切にした個性と魅力あるまちづくり

〇歴史・文化や自然などの地域資源の活用による都留市らしさの創出と魅力づくり
〇城下町の歴史的まちなみや富士山の眺望等の都留市らしい魅力ある景観づくり
〇大学との連携

（まちづくりのアイデア）

・太陽光発電よりキャンプ場
・古いまちなみを活かしたリノベーションに対する支援
・文科大周辺の文教地区として、景観整備
・大学生と地域の小中学生との交流の促進（学習支援など）
・メリハリをつけたまちづくり（まちなみを守るところと住みやすくするところ）
・地域の資源を結ぶ（点と点を線に）
・地域の資源（点）を面として活かす
・今あるものを再発見し、活かす
・地域の魅力づくりと情報発信
・城下町体感ツアー・まち歩きの促進、案内ボランティアの育成
・宝鉱山の活用

②地域別のまちづくりの方向性（特に、各地域の特徴的なもの）

〇禾生・盛里地域

・空き家・未利用地等の利活用による移住・定住の促進と地域コミュニティの維持
・都市計画道路の整備（都留バイパスの延伸）
・地域の日常の足としての路線バスの維持・充実
・リニア見学センターや道の駅等の連携と活用による交流の創出
・祭事などの地域活動の保全・継承による地域活力の維持
・動植物の生息環境を維持するための森林の保全

〇谷村地域

・地域の実情に合わせた都市計画道路の見直しと整備
・メリハリのある土地利用の推進による城下町のまちなみ保全と中心市街地の活性化への活用
・空き家等のまちづくりへの活用の促進
・田原の滝公園の活用
・大学と連携したまちづくり
・大学を中心とした多世代が交流できる拠点づくり

〇東桂地域

・東桂地域～宝地域～大月市を結ぶ広域を連絡・連携する幹線道路の整備
・通学路等の生活道路の安全性向上
・空き家や耕作放棄地等のまちづくりへの活用
・富士山噴火への避難体制づくり
・河川空間の活用と遊歩道のネットワーク整備
・美しい景勝地を創り出す河川や湧水の景観の保全と活用

〇三吉・開地地域

・新道坂トンネルをはじめとした道路網の検討と整備推進
・空き家・未利用地等の利活用による移住・定住の促進と地域コミュニティの維持
・デマンド型乗合タクシーによる地域の足の確保と利用の促進
・都留文科大学付属小学校など小中学校を活用した地域の生活拠点づくり
・豊かな自然と共生する農山村景観の保全と活用
・河川・水辺環境と景観の保全と活用

〇宝地域

・空き家・未利用地等の利活用による移住・定住の促進と地域コミュニティの維持
・幹線道路の整備推進
・河川環境の保全と水辺を感じる空間づくり
・宝鉱山等の地域資源の活用
・山並みやスカイライン等の眺望景観や豊かな自然と共生する農山村景観の保全と活用

◆都留市のまちづくりの方向性

※概ねの場所を示すことができる代表的な内容を図示しています。

○本市の中心的な拠点となる中心市街地の魅力向上 【方向性１】

○城下町の歴史的まちなみ等の都留市らしい魅力ある景観づくり 【方向性５】

○地域の拠点の魅力向上 【方向性１】

○広域の交通ネットワークの整備による交流・連携の促進 【方向性２】

○広域の交通ネットワークの整備による交流・連携の促進 【方向性２】

○豊かな自然環境の保全とその恵みの活用 【方向性４】

○都留 IC 周辺などの新たな産業の創出 【方向性２】

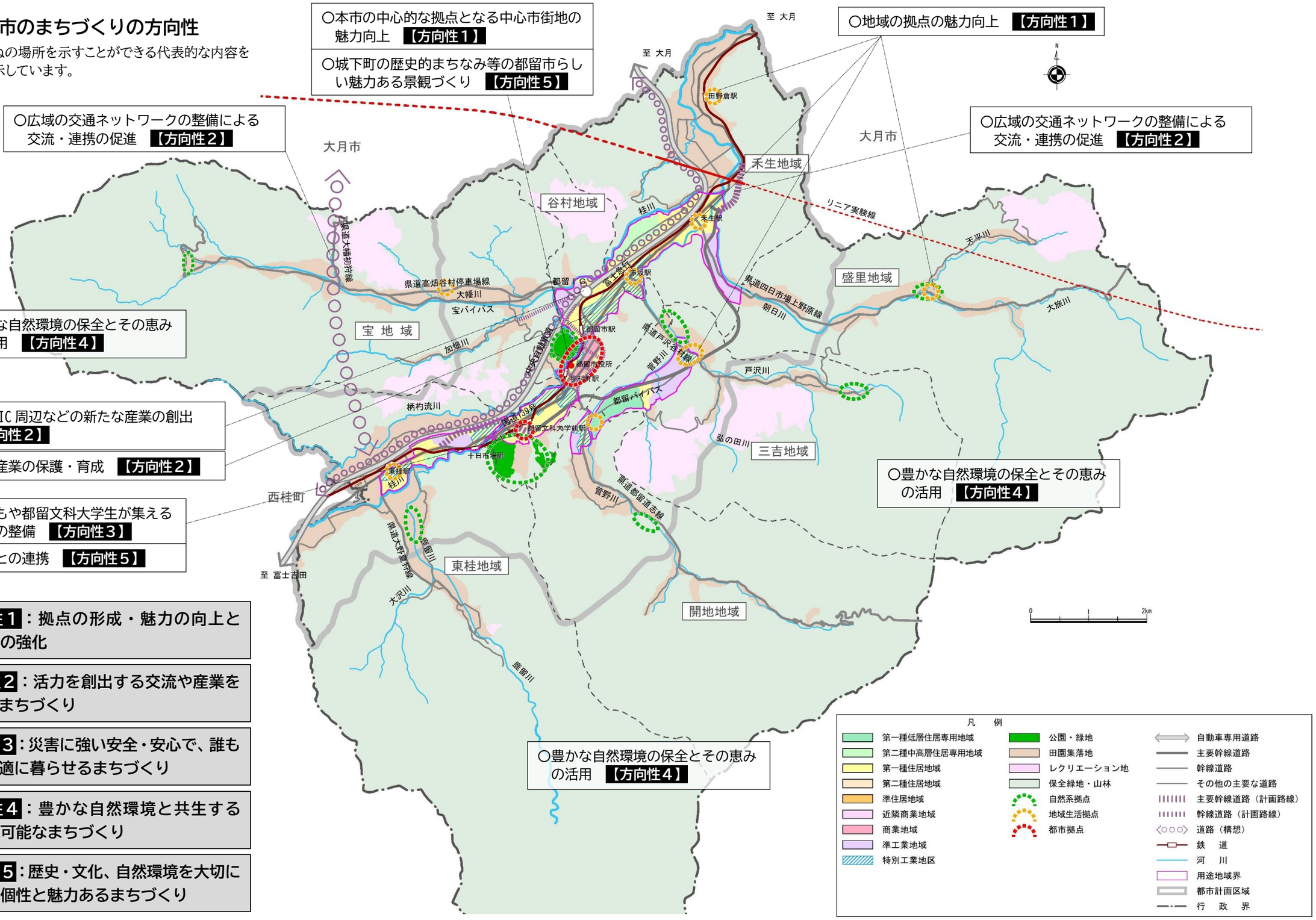
○地場産業の保護・育成 【方向性２】

○子どもや都留文科大学生が集える公園の整備 【方向性３】

○大学との連携 【方向性５】

○豊かな自然環境の保全とその恵みの活用 【方向性４】

○豊かな自然環境の保全とその恵みの活用 【方向性４】



方向性１：拠点の形成・魅力の向上と連携の強化

方向性２：活力を創出する交流や産業を育むまちづくり

方向性３：災害に強い安全・安心で、誰もが快適に暮らせるまちづくり

方向性４：豊かな自然環境と共生する持続可能なまちづくり

方向性５：歴史・文化、自然環境を大切にした個性と魅力あるまちづくり

都留市まちづくり市民懇談会委員名簿

（順不同、敬称略）

氏　　名	備　　考
小川　悟	公募市民
亀田　香世子	谷村地域協働のまちづくり推進会
髙部　久夫	
小佐野　廣光	東桂地域協働のまちづくり推進会
志村　要	
高尾　栄一	禾生地域協働のまちづくり推進会
野木　忠一	
宮澤　宏	開地地域協働のまちづくり推進会
加藤　淳子	
相川　義美	三吉地域協働のまちづくり推進会
岩澤　庄三	
梅田　茂男	宝地域協働のまちづくり推進会
佐藤　馨	
岩澤　泉	盛里地域協働のまちづくり推進会
清水　敬	
小林　清哲	都留市経営者連絡協議会
加藤　泰弘(～12月) 中村　圭二(1月～)	都留市飲食店組合
前田　安正	都留市PTA連合会
堀内　清美	都留市スポーツ協会
白戸　和子	都留市文化協会
三枝　秀雄	都留市老人クラブ連合会
志村　和彦	都留市保育所連合会
水越　洋	都留市身体障害者福祉会
田中　治夫	都留市交通安全連合会
鹿島　健	地域おこし協力隊
伊藤　洋平	一般社団法人まちのtoolbox
米山　大喜	都留文科大学生
小宮山　蘭	都留文科大学生